



中島 慶子

魅力的な街に
より良い地域公共交通の在り方

中島 令和4年3月に策定された「多久市地域公共交通計画」の目指すところは。

答弁 公共交通を取り巻く状況は、人口の減少や少子化の進展、バス運転手の人材不足などによりまして維持確保に厳しさが増している状況です。

高齢化に伴う運転免許証返納者の増加もあり、地域の暮らしを支える移動手段を確保することの重要性はますます高まっています。

課題解決を含め、利便性の向上、運行効率化など、市民の日常生活における移動手段の確保、魅力的な街を支え続ける公共交通ネットワーク構築を将来像として掲げ、その実現を目指すこととしています。

中島 令和7年に新公立病院の設置に伴い地域内、市内の循環の形態も変わり市民が利用しやすい様に利便

性の向上を図るために市民のニーズをどの程度を捉えているのか。
答弁 市民アンケートの意向として市立病院移転に伴い、西多久町・多久町の方々の住民が移動に困る。多久市内の商業施設、市役所、医療機関への移動に対する充実に取り組むべきである等の結果が分かりました。



ふれあいバス

中島 小城市の巡回バスの新公立病院への乗り入れの確保について。

答弁 多久市・小城市の交通担当課、両病院及び小城多久医療組合で協議を行っています。

新公立病院利用者の移動手段の確保、利便性に向け更に協議を進めていきます。

未来を守る子育て応援のまち
として

中島 長らくコロナ禍で雇用の悪化や収入減経済的困窮から生理用品の購入ができていない現実があり、社会問題化している。学校トイレへの生理用品の設置などについて。

答弁 学校トイレへの生理用品設置は行っていません。児童生徒の急な対応を想定し学校では保健室で準備しています。

安心して過ごせる学校教育環境づくりを学校全体で進めています。

学校では保健学習の際に、心と体の変化について正しい理解を促すとともに、性に関する指導を発達の段階を考慮して進めています。また、生理用品の受け取りに関しても、子ども



もたちが不安感を持つことがないよう考慮して対応しています。
既に女子トイレに生理用品を設置している県立学校等もあり、効果等を踏まえ研究を進めます。

【その他の質問】

▼子宮頸がんワクチンについて



田淵 厚

排水機場の安全対策
大雨時の防災対策について

田淵 数十年に一度と言われる豪雨が毎年発生している状況で、激甚化している風水害対策、インフラ老朽化対策は急務、その対策として小城市側に工事中の牛津川遊水地事業の地域説明は怎么样了か。

答弁 毎回被災する箇所には、その経緯も含めて国、県、関係機関へ改善を要請しています。市が管理する道路・河川の災害につきましては災害復旧事業により復旧を行っています。

牛津川遊水地は容量約250万立米、面積約90haで、牟田辺遊水地は90立米、面積53・4haで、比較しますと容量で約2・8倍、面積は約1・7倍の大きさとなっています。地域への説明は近日中に行います。

田淵 避難場所の納所交流センターは両子川と平林川が合流すること、水が越流し駐車場・グラウンド、体育館の床下まで流れこんでいます。

また、避難される方は危険な状態にあります。根本的に合流部の水対策が必要ではないのか。



小城市に建設中の遊水地

答弁 この両河川の合流部には大型土嚢を設置しました。

また現在両子川上流には、県により、砂防ダム事業が進められており、この砂防ダムが完成すれば現在の状況が改善されることが見込まれます。

田淵 排水機場は稼働した場合、4日入りっ放しになり、そういった場合として水や食料は備蓄する必要があります。夜、夜の真っ暗な中、ヘルメットコンベヤーからの流下物の除去作業、引き上げられない大きなもの、重い物を撤去する危険な作業があるので、ライフジャケットやヘルメット、ライト等の備品が必要と思うが。

答弁 ライフジャケットやヘルメットは、今年度、各排水場に配備しており、水や食料等の確保につきましては早急に備蓄して参ります。
夜間作業、長時間作業等の安全管理については、更なる安全対策に取り組んでいきます。

田淵 今、工事がなされている牛津川遊水地の期待される効果、詳細は怎么样了か。
また、牟田辺遊水地との運用連携は怎么样了か。

答弁 期待される効果としては河道掘削、引き堤案の河川改修と併せ、牛津川遊水地が完成し、実施することで、令和元年8月の洪水と同じ規模でも、洪水を安全に流下させ、越水を防ぎ、各排水ポンプを長時間稼働させることが可能となり、内水氾濫の軽減に繋がるものとされています。

次に、牟田辺遊水地との運用連携につきましては、越流堤から遊水地への流入のタイミングは、同程度となる計画です。



納所排水機場